

「はこジ郎」の着ぐるみの使用に関するマニュアル

1 着ぐるみ着用等に伴う留意事項

着用等の際しましては、次の事項に留意し使用してください。

(1) 着用者について

着ぐるみの着用者は、原則として、身長150cm 以上165cm 以下の方としてください。着ぐるみの着用は体力を消耗しますので、高齢の方や体調のすぐれない方は遠慮してください。着ぐるみの構造上160cm 以下の方が着用するのが可愛らしく見えます。また、着ぐるみは視界があまりよくない上、構造や素材の関係で動きが制限されるため、着用者は周囲の状況に十分注意してください。

(2) 介添者について

着ぐるみを着脱する際は、必ず介添者を1人以上つけ、控室等において周囲の人目にふれないように着脱してください。また、着ぐるみ着用者の視界は非常に狭くなるため、演技中や移動時においても必ず介添者をつけることとし、周囲の器物や人等にぶつかったり、転んでケガなどしないよう、常に注意を払ってください。

(3) 着用時間について

着ぐるみ内部は高温、多湿となるため、1回の使用を30分程度（夏季は15分程度）としてください。同日に繰り返し使用する場合は、間に十分な休憩を挟むとともに、こまめに水分補給を行ってください。複数人が交代で着用することが望ましいです。

(4) 服装について

着用の際は、以後の使用者が快適に使用できるよう、素肌が直接着ぐるみに触れないよう、長袖シャツ（汗を吸いやすい綿等の生地のもの）、ズボン（ジャージ、スパッツ等）、靴下、バンダナ（頭部）を着用し、着替えも用意してください。

また、夏場は熱中症等の危険を防ぐため付属の冷却ベストを着用してください。なお、付属の冷却ベスト及び保冷剤は忘れずにご返却ください。

(5) 換気ファンの使用について

頭部上方に換気用のファンがついております。必要に応じてご使用ください。なお付属の電池は充電式となっておりますので、使用後も捨てずにご返却ください。

(6) 天候等について

着ぐるみの雨天時の屋外使用はできません。天候が変わった場合は、速やかに撤収してください。また、火気、水気には絶対に近づけないでください。

(7) 取扱いについて

着ぐるみは、大変やわらかい素材でできていますので、丁寧に取り扱ってください。（破損又は汚損した場合は、弁償していただきます。）

(8) 事故等の責任について

着ぐるみの使用により事故等があった場合は主催者の責任となり、協議会は法律上

の責任を一切負いません。

2 着脱の方法

着脱に当たりましては、次の手順で行ってください。

(1) 着用するとき

ア 着用者は、長袖シャツ、ジャージ等の軽装になり、バンダナを着用する。

イ 輪っか1本をボディ内部につけます。

ウ ズボンをはいて肩紐の長さを調節します。

エ 靴を履きます（ズボンを靴に被せる）

※靴には左右がありますので、靴内側のラベルを確認してください。

※ズボンと靴の隙間が空かないようにズボンの肩紐を調整してください。

オ 介添者に補助してもらい、胴体(前後あり)を頭からかぶるようにして着用します。

カ 頭内部にある換気ファンのスイッチを入れます。

キ 介添者に補助してもらい、頭部を着用します。

ク あご下のマジックテープを留めます。

ケ 手袋を袖の内側に入れこんではめます。

※手袋には左右がありますので、手袋内側のラベルをご確認ください。

コ 全体を整えます。

※必要に応じて、名前の入った襷を身に付けてください。

(2) 脱ぐとき

ア 介添者が補助して、頭部を外します。それ以降は、着用するときと逆の順番で脱いでいきます。

イ 胴体の内側の水分や衣服の汚れなどを清潔な布で拭き取り、消臭剤を吹き付けます。

ウ 収納する際は、破損しないよう注意し、収納カバーに入れます。

3 演技の際の留意事項

(1) 装着者向け

着ぐるみ装着者は、次の各事項に留意し演技してください。

なお、全般的な留意点として、はこじ郎にはキャラクター設定（性格）※があります。それに反しない使い方を常に意識して使用してください。（※別紙に記載。）

ア 動きについて

(ア) 動きはオーバーアクション気味に動くこと。

⇒ 着ぐるみは手足が短いので、意識的に大きく動かないと、見ている側には動きが小さく見えてしまいます。

(イ) 小さな子どもとの握手は、できるだけ低い体勢で行うこと。

⇒ 子どもは着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖心を抱くことがあります。

(ウ) 子どもを抱きかかえる行為、イメージダウンにつながる行為は厳禁です。

イ 発声について

- (ア) 着用中は声を出さないこと。（特に介添者との雑談は厳禁です。）
⇒ はこじ郎のキャラクターイメージを壊さないために声を出さないください。
- (イ) 着用者の感情は表に出さないこと。
⇒ 不都合な事態は介添者に対応してもらおうようにしてください。
- (ウ) 介添者との間に「緊急事態」「トイレ」等を知らせるサインを決めておくこと。
⇒ 周囲から殴る蹴る等の行為を受けた際も、介添者へのサインで対処してください。

ウ 移動について

- (ア) 進行スピードや方向については、介添者の指示に必ず従うこと。
⇒ 着ぐるみのサイズが大きく、視界が狭いため、目の届かない部分は介添者の指示に従ってください。
- (イ) 走る行為は厳禁。
⇒ 事故につながる可能性がありますので、走ることはしないでください。

エ 環境について

- (ア) 必ず、一定の時間を守り着用すること。基本は30分程度(夏季は15分程度)ごとに十分な休憩をとること。無理・無茶な行動は絶対にしないこと。
⇒ 炎天下での着用は時間を調整し、水分補給は必ず行ってください。保冷剤等での体の冷却も効果的です。必要に応じて行ってください。
- (イ) 火気のそばには引火の危険があるので絶対に近寄らないこと。
⇒ 着ぐるみの一部を着用したままでの喫煙は厳禁です。
- (ウ) 雨天の日には屋外に出さないこと。
⇒ 着ぐるみの足は大変滑りやすいので、雨天の場合は転倒する危険や修復不可能な汚れになる場合があるので使用しないでください。
- (エ) 着ぐるみは、構造と素材の関係から小さな歩幅でしか歩くことができないため長い距離を歩く、階段・段差を越えることは難しいので注意が必要です。

(2) 介添者向け

着ぐるみ介添者は、次の事項に留意し介添えしてください。

ア 位置について

- (ア) 着ぐるみとは「付かず離れず」を心がけ、緊急時の際にはすぐ対応できる距離にいること。
- (イ) 必ず、着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要なときは手を引いて着ぐるみの歩行を補助すること。
⇒ 進行方向や人、障害物の存在を確認し、着用者に伝えるため。子どもなどの突進は必ず止めてください。
- (ウ) 介添者が2人以上付く場合は、前後に分かれること。
⇒ 着ぐるみが振り返るときなど後方は危険です。十分に注意してください。

イ 声かけについて

- (ア) ポイントでは、必ず状況を着用者へ知らせること。
- (イ) 握手・写真撮影は、必ず正面から「はこジ郎」にオーダーすること。
⇒ 声かけは、親しげに着用者に向けてではなく、「はこジ郎」へ声をかけること。
- (ウ) 控室の外で、着用者と雑談をしないこと。

ウ 対応について

- (ア) 周囲の状況に絶えず気を配ること。
⇒ 着用者は周囲がほとんど見えていないので、声かけにより周囲の状況を知らせてあげてください。
- (イ) 着用者の様子に気を配り、無理をさせないようにすること。
⇒ 出演時間はあらかじめ決めておくこと。時間管理を適切に行った上で、切り上げるタイミングも考えておく必要があります。可能な限り延長は避けてください。
- (ウ) 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意すること。
- (エ) お客さんからの「入ってるの、男？女？」などの質問には、「はこジ郎は、はこジ郎ですよ！」とにこやかに答えること。
⇒ はこジ郎のイメージを守るため、着用者が誰かということについて答えることはしないでください。
- (オ) 握手や写真撮影の際、人の整理を行う。

※ 可能であれば、介添者も事前に着ぐるみを着用(体験)しておくと望ましいです。

平成26年9月制定

箱根ジオパークマスコットキャラクター“はこジ郎”について



はじめまして！

おいらは箱根ジオパーク公式マスコットキャラクターのはこジ郎だよ！
箱根の「はこ」、ジオパークの「ジ」ではこジ郎っていうんだ。

箱根ジオパーク生まれの元気いっぱい5歳の男の子。
明るいのがとりえなんだけど、ちょっと泣き虫なんだ。
趣味は石の観察、ジオサイト巡り、ジオ食の食べ歩き。とくに好きなものは黒たまごと昆布のおにぎり。
箱根ジオパークの美味しいものならおいらにまかせて！

山道もジグザグ道もスタコラサッサ歩けるよ！足腰が丈夫だねって言われるんだ。
よろしくね！

■ はこジ郎のヒ・ミ・ツ！？

空がきれいな緑色なのは、コケが生えていつも青々しているから。
着物は「小田原染」、北条氏の染工・津田藤兵衛が染めたものをはこジ郎の先祖にプレゼントしたものらしい。
実は着物がリバーシブルという話も・・・？
愛用のわらじは箱根旧街道の石畳でもすべらない、先祖代々受け継がれてきたもの？
「岩場も海岸もひとつとび！」



はこジ郎のジオサイト巡り in 不動滝茶屋@湯河原町 「お茶屋で一休み…」